

地質ニュース

昭和44年8月

第180号

1969

解説	世界と海洋のエネルギー資源をさぐる……………春城清之助…1
	北松型地すべり②……………北松型地すべりグループ…21
トピックス	地震による臨海平野部井戸の水質変動……………小銅桂…28
	月の地質学②……………小森長生…32
	ダイヤモンドのおいたち⑩……………砂川一郎…44
	地球化学の話⑧……………倉沢…50
海外事情	アジアの地質鉱産に関する 国際連合の会合と出版物……………沢田秀穂…56
	13カ月太陽の国①……………村下敏夫…58
	学会掲示板……………43

編集 地質調査所

表紙の写真

板状節理

安山岩によくみられる現象で、板を積み重ねたように発達する割れ目をこう呼んでいる。長野県の鉄平石とか、その他の地方で「平石」と呼ばれる岩石の名はまさにその外観を示すものである。

板状節理は溶岩が冷却する際、その収縮によって冷却面に平行にできるもので、やはり同じ収縮によって生ずる柱状節理に移行したり、組み合わせたりすることもある。

写真は石川県能登半島「富来図幅」の上野海岸の安山岩中にみられるものである。ちょうど溶岩流の向斜部にあたるため、板が全体としてうねった構造をしており、これが波食面に美しいパターンを描いて現われている。

(盛谷智之)

発行 株式会社 実業公報社